

システム開発・ソフトウェア開発論文特集の発行にあたって

システム開発・ソフトウェア開発論文特集編集委員会

委員長 菊間 信良



システム開発やソフトウェア開発は、様々な新しい通信技術を実際のシステムサービスとして利用・活用するにあたって重要な研究開発活動の一環である。このようなシステム開発・ソフトウェア開発を主題とする論文は、和文論文誌Bの読者にとって有益な情報となり得る。これまで、和文論文誌には多くのシステム開発・ソフトウェア開発論文が投稿されてきたが、一方で論文にならないまま埋もれてしまうシステム開発・ソフトウェア開発活動が数多くあったのではないかとと思われる。

本特集号は、これらの貴重な研究開発活動の成果を論文として発表して頂くことにより、研究開発に携わる方々の活動活性化の契機となることを期待し、特別に企画、実施した。特集テーマとしては、特定の技術分野に絞るのではなく、広く通信技術全般を対象とした。また、この分野の論文査読の観点には特徴があることから査読委員の方々の意識合わせもねらいの一つであった。本特集号の編集委員会体制は、先の学生論文特集号と同様、通信ソサイエティの全分野にわたって多くの論文投稿が予想されたので、和文論文誌編集

委員全員に本特集の編集委員を務めて頂いた。

本特集へ投稿された論文数は、論文30編（レター1編を含む）に及び、厳正な査読の結果、最終的には論文8編を採録することとなった。そのほかに3編の招待論文の御寄稿を頂いた。本特集号は和文論文誌Bでの初めての試みであったので、会員皆様への周知度がやや低かったかもしれない。システム開発・ソフトウェア開発の更なる活性化のためにも、この特集企画が今後も継続的に実施されることを期待している。

最後に、本特集を発行するにあたり、御投稿頂いた方々、論文査読に御協力頂いた査読委員の方々、企画及び編集に御尽力頂いた編集委員各位、並びに事務局の奥村様に深く感謝申し上げます。

菊間 信良 (正員) 昭57名工大・工・電子卒、昭62京大大学院博士課程了。同年同大助手。昭63名工大助手、平2同講師、平4同助教、平13同教授、現在に至る。工博。アダプティブアレ、到来方向推定、多重波伝搬解析、電磁界理論の研究に従事。第4回電気通信普及財団賞受賞。平18本会論文賞受賞。平19から本会和文論文誌B編集委員長。著書「アレーアンテナによる適応信号処理」、「アダプティブアンテナ技術」など。IEEEシニア会員。

システム開発・ソフトウェア開発論文特集編集委員会

委員長	菊間 信良
副委員長	朝香 卓也
委員	石井 望・石川 義裕・岡部 寿男・加藤 寧 上山 憲昭・川又 憲・九鬼 孝夫・合志 清一 小西 聡・坂井 栄治・佐藤 伸二・佐波 孝彦 佐野 裕康・高橋 応明・田嶋 裕久・谷 英明 長 敬三・乗松 誠司・前山 利幸・馬 杉正男 増田 悦夫・松田 哲史・水野 修・宮 下裕章 宮田 英之・森川 栄久・山崎 憲一・八嶋 弘幸 若林 裕之